

平成 年木材統計調査基礎調査票

平成 年12月31日現在調査

この調査は、平成 年12月31日現在で操業している工場及び休業中であってもその休業期間が12月31日からさかのぼって3か月未満の工場は対象とします。
また、記入していただく内容は、すべて過去1年間（ 年1月～12月）についてです。

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんので、ありのままにご記入ください。

－記入のしかた－

- 記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
- 数字で記入する欄は、下記の例のように、枠からはみださないように、右づつで書いてください。

記入例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

整理番号	調査年	都道府県番号	地域センター等番号	市区町村番号	工場番号	集計区分	兼営区分	工場類型
	2 0	:	:	:	:	:	:	:

工場名	
工場所在地	〒
代表者氏名	本票について対応できる方
電話番号	わからない事があった場合、問い合わせに利用させていただきます。

この調査に関する連絡先	
調査員氏名	調査員の電話番号
農林水産省 〒	農政局 統計部 地域センター等 担当者名 電話番号

I 従業者数及び専兼業状況について

製材工場部門、木材チップ工場部門、合単板工場部門それぞれの木材生産に係る従業者数について記入してください。

工場区分	合計	うち男	うち女
製材部門従業者数	:	:	:
チップ製造部門従業者数	:	:	:
合単板製造部門従業者数	:	:	:

(注) 会社の役員等であって、事務職員を兼ねて一定の事務に従事し、一般職員と同じ給与規則によって給与を受けている者は、主たる部門の従業者に含めます。

(注) 12月末日現在の作業員及び職員の人数を記入してください。
(臨時雇用も含めます。)

(注) 兼営工場の従事者で、複数の部門に従事している場合は、その従事する業務の主たる部門に記入してください。

1 素材入荷量

2 素材消費量

单位: m^3

合 計		手持ち材消費量										貸びき(貸加工)材消費量 (B)					
												:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
												:	:	:	:	:	:
												:	:	:	:	:	:

■(注) 再製材したものを除きます。

3 材種別素材入荷量

单位: m^3

4 素材在庫量

单位: m^3

年初在庫量					年末在庫量				
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：

5 樹種別、生産都道府県別素材入荷量

国産材	樹種別計	生	産	都	道	府	県	別
あかまつ・くろまつ	製材用							
	木材チップ製造用							
	単板製造用							
す ぎ	製材用							
	木材チップ製造用							
	単板製造用							
ひ の き	製材用							
	木材チップ製造用							
	単板製造用							
からまつ	製材用							
	木材チップ製造用							
	単板製造用							
えぞまつ・とどまつ	製材用							
	木材チップ製造用							
	単板製造用							
そ の 他 針 葉 樹	製材用							
	木材チップ製造用							
	単板製造用							
広 葉 樹	製材用							
	木材チップ製造用							
	単板製造用							

6 外材地域別素材入荷量

単位:m³

外 材	南 洋 材	うちラワン材	米 材	北 洋 材	ニュージーランド材	そ の 他
製 材 用						
うち半製品						
チ ッ プ 用						
単板製造用						

Ⅲ 製材工場について(製材を行っている工場(兼業含む))

(平成 年1月1日～12月末日の1年間について記入して下さい。)

1 製材用動力数

製材用動力数

(注)製材用動力とは、製材機用だけでなく、製材に係る動力はすべて含みます。

2 製材品の用途別出荷量

単位:m³

区 分	合 計	うち集成材	建築用材計	板 類
		構造用	その他	
合 計				
国 産 材				
うち人工乾燥材				
外 材 計				
うち人工乾燥材				
南 洋 材				
米 材				
北 洋 材				
ニュージーランド材				
そ の 他				

区 分	建築用材計(つづき)	土木建設用材	木箱仕組板梱包用材	家具建具用材	その他用材
	ひき割類	ひき角類			
合 計					
国 産 材					
うち人工乾燥材					
外 材 計					
うち人工乾燥材					
南 洋 材					
米 材					
北 洋 材					
ニュージーランド材					
そ の 他					

(注) 合計のうち集成材は、建築用材、土木建設用材、家具建具用材、その他に含まれる集成材製造に向けられる製材品の合計を記入してください。

3 製材品の自県・他県別出荷量

単位:m³

合 計	自 県 に 出 荷	他 県 に 出 荷

4 製材品の在庫量

単位:m³

年 初 在 庫 量	年 末 在 庫 量

IV 木材チップ工場について(木材チップを生産している工場(兼業含む))
(平成 年1月1日～12月末日の1年間について記入して下さい。)

1 木材チップの入手区分別生産量

(注) 入手区分別木材チップ生産量は、絶乾重量(t単位)により記入してください。

区 分	合 計	素材(原木)	工場残材		林地残材	解体材・廃材
			自己の工場から振り向けたもの	他の工場から購入したもの		
合 計	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
針 葉 樹	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	
広 葉 樹	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	

2 木材チップの在庫量

単位:t	
年 初	年 末
●●●●●●●●	●●●●●●●●
●●●●●●●●	●●●●●●●●

V 合単板工場について(合板を生産している工場(兼業含む))
(平成 年1月1日～12月末日の1年間について記入して下さい。)

1 普通合板の生産量(普通合板を生産している工場)

(注) 自工場のみを記入し、自社他工場分などは入れないでください。また、うち針葉樹には、全針葉樹合板のみを記入し、芯合板は除いてください。

区 分		合 計	3mm未満	3～6mm未満	6～12mm未満	12mm以上
合 計		●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
ベニヤ コア ー合板	計	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
	うち針葉樹	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
	1 類	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
	2 類	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
特殊コア合板		●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●

2 普通合板の在庫量

単位:m ³	
年 初	年 末
●●●●●●●●	●●●●●●●●
●●●●●●●●	●●●●●●●●

3 特殊合板の生産量(特殊合板を生産している工場)

(注) 自工場のみを記入し、自社他工場分などは入れないでください。

合 計		オーバーレイ合板	プリント合板 (ラミネートを含む)	塗装合板
●●●●●●●●		●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
●●●●●●●●		●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●

天然木化粧合板	その他の合板	うち木質複合床板
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●
●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●

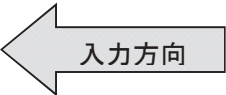
(注)「オーバーレイ合板」には、ポリエステル化粧合板、塩化ビニル化粧合板、ジアリルフタレート化粧合板を合わせて記入してください。

(注)「プリント合板」及び「天然木化粧合板」には、天井用の合板をのぞいて記入してください。

(注)「その他の合板」には、天井用合板(印板、張天)、床用合板及び他に分類されないものを含めて記入してください。

4 特殊合板の在庫量

単位:m ³	
年 初	年 末
●●●●●●●●	●●●●●●●●
●●●●●●●●	●●●●●●●●



4 5 7 1



この調査は、農林水産省で実施している木材統計調査の一環として行うものであり、木材生産についての実態を把握して林業行政の基礎資料を作成することを目的としています。
この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり課税等の資料に用いることは、法律で固く禁止されており、他に漏らすことはありませんので、是非ありのままをご記入願います。

担当者名	
担当者の電話番号	

- ・記入には濃い黒い鉛筆を使用して下さい。
- ・間違いは消しゴムできれいに消して下さい。

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(この欄は農林水産省で記入します)

調 査 年	調査月	都道府県 番 号	地 域 センター等 番 号	工 場 番 号	階 層 等 番 号						
					全 数	I	II	III	新 設	再 開 業	
20	:	:	:	:	:	①	②	③	④	⑤	⑥

月初手持ち 単位: m^3
製材用素材在庫量 → 0 1 : : : : :
月初手持ち材 単位: m^3
製材品在庫量 → 0 2 : : : : :

1 製材用動力の出力数を記入してください。

注 : 製材用機械だけでなく、製材に関係のある機械の動力も含めてください。

2 製材用素材の入荷量を記入してください。

- 注1 : ①の素材入荷量には、製材するために工場土場に入荷した手持ちの素材（長さ180センチメートル以上のもので、輸入外材については半製品を含みます。）で、そのうち貸びきを依頼された材や製材以外の用途に使うために入荷した素材を除いた数量を記入してください。
2 : ②の転売したもの・貸びきに出したのものには、前記①の素材入荷量のうち、都合によって素材のまま転売したもの及び他の工場に貸びきを依頼した素材の量を記入してください。なお、大径木を割材（製材品にはしない。）にするだけの貸びきは、貸びきとして扱わないので含めないでください。
3 : 手持ち製材用素材の入荷量には、上記①の素材入荷量から②の転売したもの・貸びきに出したものを差し引いて記入してください。

3 製材用素材の消費量を記入してください。

注 : 大径木を他の工場で割材にさせたものを、自工場でさらに製材機にかけて製材した場合、手持ち材消費量としてください。

4 樹種別に製材用素材の入荷量を記入してください。

注 : 2の製材用素材入荷量のうち、手持ち製材用素材入荷量と、3の製材用素材消費量のうち貸びき材消費量Bとの合計について、国産材・外材別、樹種（種類）別に記入してください。

5 製材用素材の月末在庫量を記入してください。

注 : 月末現在で工場土場に残っている製材用素材のうち、手持ちのものについて記入してください。貸びきを依頼された材や製材以外の用途に使うために、一時工場土場にある素材は除いてください。

6 製材品について記入してください。

- 注1 : 生産量については、手持ちの製材用素材から製材した製材品と、貸びきを依頼されて製材した製材品の両方を加えて記入してください。
2 : 出荷量には、手持ち材による製材品で、その月に販売したものと自家業務用に消費した製材品の数量に、貸びき材による製材品の生産量を加えて記入してください。
3 : 在庫量には、月末現在で自工場の製材品在庫量を記入してください。ただし、貸びき材による製材品は除いてください。

7 今後2か月における製材用素材の消費見込量を記入してください。

注 : 貸びき見込量も含めて記入してください。

(備考欄) 主な調査項目の増減理由があれば記入してください。

出力数 → 1 1 : : : : : kW

素材入荷量① → 2 1 : : : : : m^3
販売したもの・貸びきに出したものの② → 2 2 : : : : :
手持ち製材用素材入荷量①－② → 2 3 : : : : : A

合計 単位: m^3
手持ち材消費量 → 3 1 : : : : :
貸びき材消費量 → 3 2 : : : : : B

合計 (A + B) 単位: m^3
国産材 { 計 → 4 1 : : : : :
針葉樹 → 4 2 : : : : :
広葉樹 → 4 3 : : : : :
外材 { 計 → 4 4 : : : : :
南洋材 → 4 5 : : : : :
うち、ラワン材 → 4 6 : : : : :
米材 → 4 7 : : : : :
北洋材 → 4 8 : : : : :
ニューギランド材 → 4 9 : : : : :
その他 → 5 0 : : : : :
5 1 : : : : : m^3

月末在庫量 単位: m^3
→ 6 1 : : : : :

生産量 単位: m^3
→ 7 1 : : : : :
出荷量 → 7 2 : : : : :
月末在庫量 → 7 3 : : : : :

単位: m^3
月 → 8 1 : : : : :
月 → 8 2 : : : : :

ご協力ありがとうございました。
月 日までに下記あてに送付してください。

平成 年 木材統計調査

合 単 板 月 別 調 査 票

平成 年 月 分

局・地域 センター等名	
工場番号	

この調査は、農林水産省で実施している木材統計調査の一環として行うものであり、木材生産についての実態を把握して林業行政の基礎資料を作成することを目的としています。
この調査で得られる調査結果を外に漏らしたり課税等の資料に用いることは、法律で固く禁止されており、他に漏らすことはありませんので、是非ありのままをご記入願います。

担当者名	
担当者の 電話番号	

1 単板製造用素材について記入してください。

単位：m³

区分	月 初 在庫量	入荷量	消費量	月 末 在庫量
合 計				
国産材				
外 材				

(注) 素材の販売量は、入荷量から差し引いてください。

2 普通合板について記入して下さい。

単位：m³

区 分	月 初 在庫量	入荷量	生 産 量					出荷量	消費量 (特殊合 板用)	月 末 在 庫 量		
			3mm未満	3～6	6～12	12mm以上	合計			計	普 通 合板用	特 殊 合板用
合計												
ベニヤコア 合 板												
うち、 針葉樹												
特殊コア 合 板												

3 普通合板のうち、次の品目の生産量を記入して下さい。

単位：m³

コンクリート 型わく用合板	うち、針葉樹	構造用合板	うち、針葉樹

(注) 各品目は、それぞれ普通合板の内数として記入してください。

4 特殊合板について記入してください。

単位：m³

月初在庫量	生産量	出荷量	月末在庫量

- 注：1 入荷量には、購入又は自社他工場から受け入れた量を記入してください。
- 2 製造量には、自工場分のみ記入し、自社他工場分等はいれないでください。
- 3 出荷量には、出荷先がどこであっても自工場から一旦搬出された普通合板のすべてを記入してください。
- 4 月末在庫量には、自工場内の在庫量のみを記入してください。
- 5 単位未満は四捨五入して記入してください。
- 6 普通合板
- (1) 消費量（特殊合板用）には、自工場での消費量のみを記入し、自社他工場分はいれないでください。
- (2) 針葉樹には、全針葉樹合板のみを記入し、複合合板は除いてください。

(備考) 主な調査項目の増減理由について記入してください。

御協力ありがとうございました。 月 日
までに下記あてに送付してください。

素材・木材チップ価格調査票

平成 年 月分

この調査は、農林水産省が統計法(平成19年法律第53号)第19条第1項の規定に基づき一般統計調査として実施するものです。
また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

担当部署名 又は担当者名	
-----------------	--

☆ 記入上の注意：1 当月価格欄には、15日現在又は15日に最も近い日の取引価格を記入してください。
2 消費税区分欄には、当月価格が消費税込みの場合には「込み」に、消費税抜きの場合には「抜き」に「✓」をつけてください。

1 製材用素材価格（工場着価格）：土場又は貯木場までの輸送費、積降し費を含んだ価格（1㎡当たり円）を記入してください。

国産・外材別	樹種	材種	規格 (径 cm × 長 m)	等級	調査銘柄等	当月価格 1㎡当たり円	消費税区分	対前月差 円	価格変動の要因について記入してください
国産材	まつ	中丸太	24.0～28.0×3.65～4.0	込み			込み ☐ 抜き ☐		
	すぎ	小丸太	8.0～13.0×3.65～4.0	〃			込み ☐ 抜き ☐		
		中丸太	14.0～22.0×3.65～4.0	〃			込み ☐ 抜き ☐		
			24.0～28.0×3.65～4.0	〃			込み ☐ 抜き ☐		
		大丸太	30.0～36.0×3.65～4.0	〃			込み ☐ 抜き ☐		
	ひのき	中丸太	14.0～22.0×3.65～4.0	〃			込み ☐ 抜き ☐		
	からまつ		14.0～28.0×3.65～4.0	〃			込み ☐ 抜き ☐		
	えぞ・とどまつ	大丸太	30.0～36.0×3.65～4.0	〃			込み ☐ 抜き ☐		
外材	米材	米まつ	30.0 上 × 6.0 上	〃			込み ☐ 抜き ☐		
		米つが	丸太	〃			込み ☐ 抜き ☐		
	北洋材	北洋えぞまつ	20.0～28.0×3.65 上	込み			込み ☐ 抜き ☐		

2 合単板用素材価格（工場着価格）：土場又は貯木場までの輸送費、積降し費を含んだ価格（1㎡当たり円）を記入してください。

	樹種	材種	規格 (径 cm × 長 m)	等級	調査銘柄等	当月価格 1㎡当たり円	消費税区分	対前月差 円	価格変動の要因について記入してください
外材	北洋材	北洋からまつ	丸太	20.0 上 × 4.0 上 (合板適材)			込み ☐ 抜き ☐		

3 木材チップ用素材価格（工場着価格）：土場又は貯木場までの輸送費、積降し費を含んだ価格（1㎡当たり円）を記入してください。

	針葉樹・広葉樹別	材種	規格	等級	調査銘柄等	当月価格 1㎡当たり円	消費税区分	対前月差 円	価格変動の要因について記入してください
国産材	針葉樹	丸太	チップ向け				込み ☐ 抜き ☐		
	広葉樹		〃				込み ☐ 抜き ☐		

4 木材チップ価格（工場渡し価格）：パルプ工場への輸送費、積降し費を除いた価格（1t当たり円）を記入してください。

針葉樹・広葉樹別	規格	等級	調査銘柄等	当月価格 1t当たり円	消費税区分	対前月差 円	価格変動の要因について記入してください
針葉樹	パルプ向け				込み ☐ 抜き ☐		
広葉樹	〃				込み ☐ 抜き ☐		

御協力ありがとうございました。
月 日までに右記あてに送付してください。

木材製品卸売価格調査票

平成 年 月分

この調査は、農林水産省が統計法(平成19年法律第53号)第19条第1項の規定に基づき一般統計調査として実施するものです。
また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

担 当 部 署 名

又 は 担 当 者 名

☆ 記入上の注意： 1 当月価格欄には、**15日現在**又は**15日に最も近い日**の取引価格を記入してください。
2 消費税区分欄には、当月価格が消費税込みの場合には「**込み**」に、消費税抜きの場合には「**抜き**」に「**✓**」をつけてください。

1 製材品価格： 木材市売市場にあっては「せり又は入札による取引価格」（1㎡当たり円）を、木材センター及び木材販売業者にあっては配達のための輸送費、積降し費を除いた「店頭渡し販売価格」（1㎡当たり円）を記入してください。

国産・外材別	樹 種	材 種	規 格 (厚cm×幅cm×長m)	等級	調査銘柄等	当月価格 1㎡当たり円	消費税区分 込み 抜き	対前月差 円	価格変動の要因について記入してください
国産材	ま つ	平 角	10.5～12.0×24.0×3.65～4.0	2 級			☐	☐	
	す ぎ	正 角	10.5 × 10.5 × 3.0	〃			☐	☐	
			12.0 × 12.0 × 3.0	〃			☐	☐	
			10.5 × 10.5 × 3.65～4.0	〃			☐	☐	
		正 角 (乾燥材)	10.5 × 10.5 × 3.0	〃			☐	☐	
			12.0 × 12.0 × 3.0	〃			☐	☐	
	ひ の き	正 角	10.5 × 10.5 × 3.0	〃			☐	☐	
			12.0 × 12.0 × 3.0	〃			☐	☐	
			10.5 × 10.5 × 3.65～4.0	〃			☐	☐	
		正 角 (乾燥材)	10.5 × 10.5 × 3.0	〃			☐	☐	
			12.0 × 12.0 × 3.0	〃			☐	☐	
			10.5 × 10.5 × 3.65～4.0	〃			☐	☐	
外材	米材	米まつ	平 角	10.5～12.0×24.0×3.65～4.0	2 級		☐	☐	
		米つが	正 角 防腐処理材	12.0 × 12.0 × 4.0	〃		☐	☐	
			防腐処理材 (乾燥材)	12.0 × 12.0 × 4.0	〃		☐	☐	
	北洋材	北 洋 えぞまつ	板	1.2～1.5×15.0×3.65～4.0	1 級		☐	☐	

2 普通合板価格： 木材市売市場にあっては「せり又は入札による取引価格」（1枚当たり円）を、木材センター及び木材販売業者にあっては配達のための輸送費、積降し費を除いた「店頭渡し販売価格」（1枚当たり円）を記入してください。

品 目	規 格 (厚cm×幅cm×長m)	類別	調査銘柄等	当月価格 1枚当たり円	消費税区分 込み 抜き	対前月差 円	価格変動の要因について記入してください
針 葉 樹 合 板	1.2 × 91.0 × 1.82	1 類			☐	☐	

3 集成材価格： 木材市売市場にあっては「せり又は入札による取引価格」（1本当たり円）を、木材センター及び木材販売業者にあっては配達のための輸送費、積降し費を除いた「店頭渡し販売価格」（1本当たり円）を記入してください。

品 目	規 格 (厚cm×幅cm×長m)	等級	調査銘柄等	当月価格 1本当たり円	消費税区分 込み 抜き	対前月差 円	価格変動の要因について記入してください
ホワイトウッド集成管柱	10.5 × 10.5 × 3.0	1 等			☐	☐	